

企画展「タイムスリップ!大むかしのくらし」の体験コーナーで学習する小学6年生のみなさん。

ケースの中に展示してある遺物や、教科書に載っている道具を実際を使って、昔の人の知恵を学んだり、縄文から弥生の変化を体感したりできます。小学6年生の学習に合わせ、縄文のむらから古墳のくににまとまってくる様子も理解できるよう展示が構成されています。来年度も4月～5月に開催予定です。

どんぐりをつぶして、何を作ろうかな。クッキーができそう。



土器で煮てもおいしいかも。



弓矢でいのししを捕まえるぞ。



教科書で見た石包丁。使ってみると、稲をつみとりやすいね。



収穫した稲を杵と臼で脱穀してみよう!



田げたをはくと、あまり泥に沈まないね。



縄文人と弥生人、どっちの衣装を着ようかな?
弥生になると織る技術が伝わったんだね。



クラスごとに勾玉づくりもできます。
ボランティアのみなさんがお手伝い。

